

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月14日
【四半期会計期間】	第58期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社シード
【英訳名】	SEED CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 浦壁 昌広
【本店の所在の場所】	東京都文京区本郷二丁目40番2号
【電話番号】	(03)3813-1111
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 鎌田 清
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区本郷二丁目40番2号
【電話番号】	(03)3813-1111
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 鎌田 清
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期 第1四半期連結 累計期間	第58期 第1四半期連結 累計期間	第57期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	3,362,070	4,292,674	15,038,871
経常利益(千円)	108,727	179,787	761,489
四半期(当期)純利益(千円)	89,341	143,913	969,100
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	76,037	90,168	998,472
純資産額(千円)	5,721,321	6,580,941	6,644,817
総資産額(千円)	15,239,428	20,866,980	20,349,105
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	11.60	18.68	125.82
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	37.5	31.5	32.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	274,122	553,561	1,768,788
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	645,155	462,906	1,766,272
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	49,520	401,463	213,214
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	629,024	1,655,858	1,169,329

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 第57期及び第57期の第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第58期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融対策を背景とした円安株高が進行する等、景気の緩やかな回復傾向は見られますものの、今後の消費税増税の動向等もあり個人消費は依然不安定なまま推移しております。

コンタクトレンズや眼鏡業界におきましても、小売市場の販売競争激化に伴う販売価格の低価格化が定着した一方で、付加機能、付加価値を備えたコンタクトレンズや眼鏡は好調な推移を示す等、市況は細分化しつつ再成長の様相を示し始めております。

このような状況の中、当社グループといたしましては、平成26年3月期を『世界に通用する“日本のシード”』の礎を築くための3ヶ年中期経営計画の起点と位置付け、伸長する市場へ積極的に経営資源を投下し、「個別店舗戦略の徹底と新規顧客の獲得」、「生産能力の増強と新商品開発」、「商品施策（オンリーワン商品の拡大）の展開」、「新しい挑戦」の4方針を遂行することで、収益性のさらなる向上、事業基盤の強化に努めております。

この結果、使い捨てコンタクトレンズカテゴリーは前年同期比52.6%（当社卸売ベース）の伸長となりました。また、眼鏡は、主力フレームの新作モデル等が売上を牽引した結果、売上高は前年同期比3.5%増となり、不採算部門の整理等も奏功したことで、事業利益も黒字へ回復をいたしました。これらにより、グループ全体の売上高は4,292百万円（前年同期比27.7%増）、営業利益204百万円（前年同期比90.0%増）、経常利益179百万円（前年同期比65.4%増）と増収増益となりました。四半期純利益につきましては、当社が保有しておりました投資有価証券を非公開化を実施した企業の株式公開買付けに応じて売却し、78百万円の売却益を計上した結果、114百万円の法人税等を計上したものの、143百万円（前年同期比61.1%増）と増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (コンタクトレンズ・ケア用品)

コンタクトレンズ・ケア用品については、純国産1日使い捨てコンタクト「シードワンデーピュアうるおいプラス」、瞳を際立たせるサークルレンズ「シードアイコフレワンデーUV」と、新たに投入をいたしました「ヒロインメイクワンデーUV」を柱に、国産初の1日使い捨てタイプの遠近両用コンタクト「シードワンデーピュアマルチステージ」を含めた遠近両用シリーズ（1日使い捨て、2週間交換、ハード）全体でのPRを展開することで、売上の拡大に努めてまいりました。

これにより、ワンデーピュアシリーズが約27%（当社卸売ベース）伸長したことや、前期6月より取扱いを開始しております「シードアイコフレワンデーUV」が四半期を通して寄与したことにより、売上高は3,843百万円（前年同期比31.7%増）となりました。これにより、粗利益も増加したことで、営業利益は326百万円（前年同期比45.2%増）と増益基調を維持することができました。

#### (眼鏡)

眼鏡につきましては、主力フレームの「ビビッドムーン」、「プラスミックス」の春夏モデル新作フレームの投入に加え、昨年投入をいたしました新ブランドの「クロックスアイウェア」や「ヴィヴィフルール」がようやく市場で認知されはじめ、眼鏡フレームカテゴリーで前年同期比約20%（当社卸売ベース）の増加となり、全体の売上高は354百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

営業利益につきましては、販売価格競争が厳しい中、広告宣伝施策の見直しや前期に実施いたしました不採算店舗の整理・合理化策の効果等によって、10百万円（前年同期営業損失6百万円）と黒字転換を果たすことができました。

#### (その他)

その他につきましては、子会社の携帯電話部門の売上高が、前期後半の半導体供給不足によるメーカー側の出荷調整も一段落したことで、ようやく前年同期水準まで回復してまいりましたが、眼内レンズの減少等が影響したため、売上高全体は95百万円（前年同期比6.5%減）となりました。利益につきましては、不採算店舗の整理・合理化策によって、営業損失19百万円（前年同期営業損失21百万円）となり、改善の兆候が見られ始めました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,655百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、553百万円（前年同期274百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上や減価償却費の内部留保効果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、462百万円（前年同期645百万円の支出）となりました。これは主に、製造ライン増設に伴う機械装置等の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、401百万円（前年同期49百万円の収入）となりました。これは、運転資金や鴻巣研究所の増設準備に伴う長短借入金の借入れによるものであります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、139百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

（5）従業員数

当第1四半期連結累計期間において、当社グループでは、使い捨てコンタクトレンズの製造ライン増強及び販売力強化のため、コンタクトレンズ・ケア用品に係る製造部門の従業員数を中心に増員を図っており、これに伴い、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の従業員数は582人（前連結会計年度末498名）となっております。なお、従業員数は就業人員数であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,424,000
計	26,424,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,112,000	9,112,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,112,000	9,112,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	9,112,000	-	1,841,280	-	2,474,160

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在			
区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,409,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,700,400	77,004	
単元未満株式	普通株式 1,900		
発行済株式総数	9,112,000		
総株主の議決権		77,004	

【自己株式等】

平成25年6月30日現在					
所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)シード	東京都文京区本郷 2-40-2	1,409,700	-	1,409,700	15.47
計		1,409,700	-	1,409,700	15.47

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下、「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清和監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,169,329	1,655,858
受取手形及び売掛金	2,667,783 <sup>2</sup>	2,619,639 <sup>2</sup>
商品及び製品	2,170,651	2,333,275
仕掛品	184,696	208,818
原材料及び貯蔵品	306,559	337,553
未収入金	232,113	276,589
その他	1,079,775	1,007,603
貸倒引当金	93,810	95,213
流動資産合計	7,717,098	8,344,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,758,017	2,815,041
機械装置及び運搬具(純額)	1,415,731	1,546,261
土地	3,548,710	3,548,710
リース資産(純額)	3,020,363	3,172,361
建設仮勘定	223,026	36,481
その他(純額)	233,248	271,972
有形固定資産合計	11,199,097	11,390,829
無形固定資産	85,989	81,368
投資その他の資産	1,346,919 <sup>1</sup>	1,050,657 <sup>1</sup>
固定資産合計	12,632,006	12,522,854
資産合計	20,349,105	20,866,980

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 924,359	2 936,619
短期借入金	2,637,570	3,076,505
リース債務	605,628	647,543
未払法人税等	114,116	23,064
賞与引当金	223,880	139,090
製品保証引当金	42,100	45,300
その他	2 2,035,545	2 1,896,952
流動負債合計	6,583,199	6,765,075
固定負債		
長期借入金	3,584,832	3,848,467
リース債務	2,495,018	2,599,980
退職給付引当金	980,039	999,595
役員退職慰労引当金	58,199	68,930
その他	3,000	3,990
固定負債合計	7,121,088	7,520,963
負債合計	13,704,287	14,286,039
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	2,474,160	2,474,160
利益剰余金	2,676,920	2,666,789
自己株式	445,553	445,553
株主資本合計	6,546,806	6,536,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,088	44,036
為替換算調整勘定	5,922	228
その他の包括利益累計額合計	98,010	44,265
純資産合計	6,644,817	6,580,941
負債純資産合計	20,349,105	20,866,980

## ( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【 四半期連結損益計算書】

## 【 第 1 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	3,362,070	4,292,674
売上原価	1,830,350	2,355,901
売上総利益	1,531,720	1,936,772
販売費及び一般管理費	1,423,949	1,732,041
営業利益	107,771	204,731
営業外収益		
受取利息	500	274
受取配当金	4,733	3,287
為替差益	924	-
還付消費税等	73	3,815
その他	34,365	4,504
営業外収益合計	40,597	11,882
営業外費用		
支払利息	13,845	31,886
為替差損	-	1,445
その他	25,795	3,495
営業外費用合計	39,640	36,826
経常利益	108,727	179,787
特別利益		
投資有価証券売却益	-	78,520
特別利益合計	-	78,520
特別損失		
固定資産除却損	10,368	-
特別損失合計	10,368	-
税金等調整前四半期純利益	98,358	258,307
法人税、住民税及び事業税	41,987	29,213
法人税等調整額	32,970	85,180
法人税等合計	9,017	114,393
少数株主損益調整前四半期純利益	89,341	143,913
四半期純利益	89,341	143,913

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89,341	143,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,534	48,052
為替換算調整勘定	3,230	5,693
その他の包括利益合計	13,303	53,745
四半期包括利益	76,037	90,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,037	90,168
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	98,358	258,307
減価償却費	247,476	364,029
貸倒引当金の増減額(は減少)	706	280
退職給付引当金の増減額(は減少)	15,877	19,556
賞与引当金の増減額(は減少)	72,850	84,790
製品保証引当金の増減額(は減少)	41,400	3,200
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,547	10,731
受取利息及び受取配当金	5,234	3,562
支払利息	18,474	31,886
固定資産除却損	10,368	-
投資有価証券売却損益(は益)	-	78,520
売上債権の増減額(は増加)	37,045	47,671
たな卸資産の増減額(は増加)	23,502	217,739
仕入債務の増減額(は減少)	9,972	12,260
未払金の増減額(は減少)	148,475	213,460
その他	208,334	114,649
小計	365,373	690,861
利息及び配当金の受取額	5,234	3,562
利息の支払額	21,534	32,208
法人税等の支払額	74,951	108,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	274,122	553,561
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	640,596	720,373
投資有価証券の取得による支出	210	210
投資有価証券の売却による収入	-	108,763
貸付金の回収による収入	8,962	7,462
敷金及び保証金の回収による収入	220	142,794
その他	13,532	1,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	645,155	462,906
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	10,000	290,000
長期借入れによる収入	1,400,000	700,000
長期借入金の返済による支出	328,462	287,429
社債の償還による支出	900,000	-
配当金の支払額	66,429	138,418
リース債務の返済による支出	45,587	162,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,520	401,463
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,164	5,589
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	318,347	486,529
現金及び現金同等物の期首残高	947,372	1,169,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	629,024	1,655,858

【注記事項】

( 継続企業の前提に関する事項 )

該当事項はありません。

( 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 )

該当事項はありません。

( 会計方針の変更等 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

該当事項はありません。

( 四半期連結貸借対照表関係 )

1. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
投資その他の資産	278,725千円	277,043千円

2. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	45,400千円	46,093千円
支払手形	123,005	103,027
設備関係支払手形(流動負債「その他」)	34,384	399,504

( 四半期連結損益計算書関係 )

該当事項はありません。

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	629,024千円	1,655,858千円
現金及び現金同等物	629,024	1,655,858

( 株主資本等関係 )

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	77,022	10.0	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	154,044	20.0	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,918,058	342,384	3,260,443	101,627	3,362,070
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,918,058	342,384	3,260,443	101,627	3,362,070
セグメント利益又は損失( )	224,616	6,694	217,921	21,629	196,292

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	217,921
「その他」の区分の利益	21,629
セグメント間取引消去	-
全社費用(注)	88,520
四半期連結損益計算書の営業利益	107,771

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,843,338	354,288	4,197,626	95,048	4,292,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,843,338	354,288	4,197,626	95,048	4,292,674
セグメント利益又は損失（ ）	326,203	10,668	336,872	19,787	317,085

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	336,872
「その他」の区分の利益	19,787
セグメント間取引消去	-
全社費用（注）	112,353
四半期連結損益計算書の営業利益	204,731

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円60銭	18円68銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	89,341	143,913
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	89,341	143,913
普通株式の期中平均株式数(株)	7,702,263	7,702,237

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

重要な設備投資の決定

当社は、平成25年8月12日開催の取締役会において、鴻巣研究所の生産能力増強と多品種生産対応のため、下記のとおり設備の追加設置(設備投資)を行うことを決議いたしました。

(1) 設備投資の目的

当社鴻巣研究所の生産能力増強と多品種生産対応のため、鴻巣研究所の敷地内に新たに新棟を建築するものであります。

(2) 設備投資の内容

所在地 埼玉県鴻巣市袋1030番7

用途 コンタクトレンズの製造、研究開発設備

投資金額 23億2千万円

(3) 建設期間

着工予定 平成25年10月

竣工予定 平成26年7月

(4) 生産能力等

新棟の竣工により、1日使い捨て、または2週間交換タイプのコンタクトレンズの製造が可能(現時点では1日使い捨てコンタクトレンズ換算で月産1,000万枚規模の生産能力向上を計画中)となります。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

株式会社シード  
取締役会 御中

### 清和監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	南方 美千雄	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	江黒 崇史	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社シードの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社シード及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。